平成25年度

自治懇談会

～村民の声を村づくりに～

村民の声を直に聞き、村行政に反映する機会として、昭和53年から実施している「自治懇談会」が今年も行われました。

今年は、1月15日の武田自治会を皮切りに、1月31日中央自治区まで全15会場で開催され、約360人の村民が参加しました。

懇談会で行われた村・教育委員会からの報告と、村民のみなさんからいただいた主なご質問などをご紹介します。

1月22日開催／西篠津・新西篠津自治懇談会（会場：アイリス）

村からの主な説明

○東出村長あいさつ

・降雪状況（ハウスなどに注意を）
・農業情勢（作況状況、ＴＰＰなど）
・新篠津村まちづくり総合計画後期基本計画（少子高齢化対策、農業振興、災害に強いまちづくりを特に重点）
・平成26年度予算編成方針
・開村120年記念行事について
・交通安全の推進（目標／平成26年5月17日交通事故死ゼロ２５００日）

○蜂屋教育長あいさつ

・学校教育関係（小学校備品整備、中学校部活動の充実、いじめ・不登校対策）
・社会教育関係（生涯学習の取組、高齢者教育の推進、青年団活動など）
・通学・大雪対策（安心メールの導入など連絡体制の強化）
・給食センター関係（厨房設備の更新、開設50周年事業など）
・家庭教育講座の開催

○各課担当説明

【産業建設課】
・日本型直接支払制度の創設及び新たな経営所得安定対策等の概要

【住民課】
・特定健診受診の推進

【総務課】
・新篠津村まちづくり総合計画後期基本計画の概要
・青空まつり土曜日開催の協議など

主な意見・要望など

【少子高齢化関係】

Q村まちづくり総合計画の中で、少子化・人口対策に取り組む施策はあるか?

A副村長を中心にプロジェクトチームを組んで、若い人が村に住んでもらえるよう検討している。

Q年々、農家戸数が減少しているが、その反面、高齢者が増えている。村まちづくり総合計画後期基本計画の住宅政策の中で、高齢者向けの賃貸住宅の建設をお願いしたい。

A高齢者の除雪作業は大変。独居・老人夫婦がこれからも増える。高齢者の方が役場まで徒歩でいけるような住宅は必要。後期基本計画の中で考えていきたい。

【農業関係】

Qグリーンツーリズムは今年で3年目。今後も地域が一体となり、一歩前進することが後継者対策にも繋がるのではないだろうか。

A他の自治会でもグリーンツーリズムを進めて欲しいと意見が出ていた。農業の良さを次の世代に伝える事により農業が守れると思う。村まちづくり総合計画後期基本計画の中で組み込んで進めていきたい。

【防災関係】

Q防災無線デジタル化について、デジタルの場合、突然、切れることがあり、防災情報が伝わらない。携帯電話を持っている方が多いので、学校の安心メールのように防災情報を流すことはできないか。

Aデジタルは障害物や天候などに左右され、アナログより弱いが、来年度更新をする予定の防災無線は、録音機能もあるので、今よりは便利になる。

【その他】

Q国民健康保険の広域合併の可能性についてお聞きしたい。その場合、村の支出や個人の負担は増えるのか。

A広域化については、以前から言われている。将来的には北海道1本の国保になるのではないかと思う。実際に広域化すると、本村の国保税の税率は上がると思う。

○問合先　総務課企画係
☎57―２１１１（内線422）